



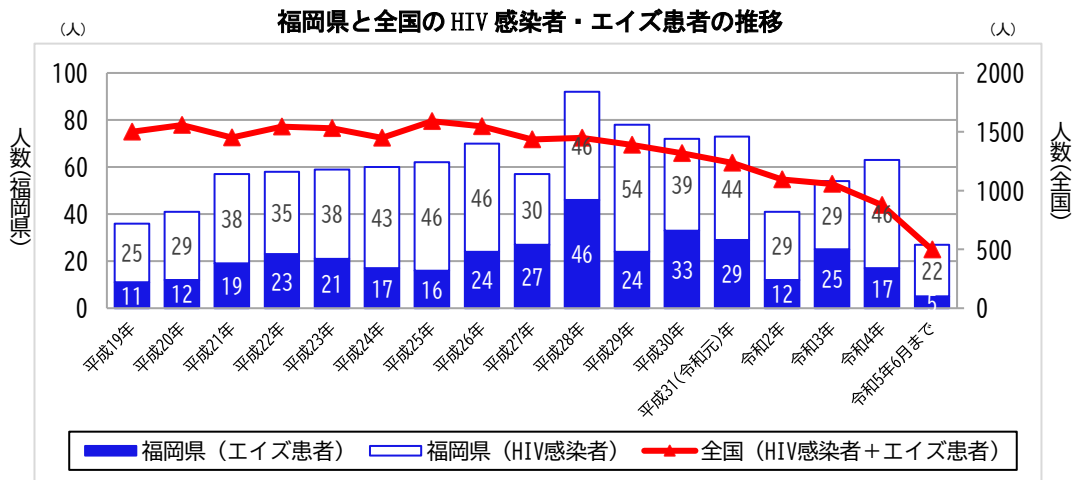
レッドリボンは、HIV感染者・エイズ患者への
理解と支援の象徴です

令和5年上半期(1月～6月)における福岡県内のHIV感染者・エイズ患者報告数等について(令和5年9月29日現在、速報値)

福岡県では、エイズ予防対策の一環として、県内(北九州市・福岡市・久留米市を含む)のHIV感染者・エイズ患者報告数等の情報を年2回公表しています。

令和5年上半期(1月～6月)の報告数

- (1) HIV感染者は22名、エイズ患者は5名でした。昨年の同期間と比べ、HIV感染者では8名、エイズ患者では4名の減少となりました。
- (2) 年代別で見ると、HIV感染者は20～40代に多く、エイズ患者は20～50代でみられ年代間での大きな偏りはありませんでした。
- (3) 国籍・性別で見ると、日本人男性が最も多く23名でした。女性の報告はありませんでした。
- (4) 推定される感染経路は、同性間性的接触(同性・異性間性的接触を1名含む)が最も多く15名でした。全体の約56%を占めています。



HIV感染症・エイズの治療は飛躍的に進歩しています

HIVは感染力が弱く、性行為以外の日常生活でうつることはほとんどありません。

また、感染しても、早期に発見し適切な治療を継続すれば、エイズの発症を防いだり遅らせることができ、感染前と変わらない日常生活を送ることができます。

早期発見が大事！HIV抗体検査を受けましょう！

HIVは感染すると発熱などの症状がみられることもありますが、数週間で消失し、その後無症候期に入ります。無症候期は数年～10年以上続く人もいますが、感染後、短期間のうちにエイズを発症する人もいます。感染に早期に気付くためには、HIV抗体検査を受けることが重要です。

県内の保健所では、**無料・匿名**でエイズ相談とHIV抗体検査を実施しています。

このうち9か所では、通常1週間かかる検査の結果が約1時間で分かる迅速検査を実施しています(別紙1参照)。

◆別紙1 [福岡県内のエイズ・性感染症の検査実施保健所一覧](#)

エイズは、STD(性感染症)のひとつで、誰でも感染する可能性がある病気です。

HIVに感染しただけではほとんど症状がないため、気付かず過ごしているかもしれません。

感染の不安がある方は、早めに検査に行きましょう。